

第 5 次草津市総合計画第 2 期基本計画の進捗管理について

【第 1 期基本計画での進捗管理等の概要】

進捗管理等の単位	取組み概要
基本方針	各基本方針に定めた指標（ベンチマーク）の進捗状況を毎年確認し、基本計画の大まかな進捗を達成目標で継続的に把握している。
市民意識調査	市の取組みに対する市民の評価をいただき、市政運営の参考とするために毎年実施している。基本方針ごとの満足度と重要度の確認を中心に行っており、結果の一部を基本方針の指標（ベンチマーク）として把握している。
施策	施策ごとに事業執行面での分析や評価を行うとともに、評価に基づいた今後の取組みの考え方を検討するために毎年実施している。 事務事業の進捗等を踏まえて施策単位での評価シートを作成し、評価に基づく改善方針を検討するなど、第 1 期基本計画における進捗管理・評価の中心となっている。

【第 1 期基本計画での進捗管理における課題】

**基本方針**

課題：基本方針単位に設けている指標（ベンチマーク）は、基本方針ごとの進捗の概況を市民にわかりやすくお知らせできようには設けたものであるが、趣旨の説明不足等により、指標（ベンチマーク）のみをもって基本方針に含まれるすべての施策・事業の評価を総括しているものではないということが周知できていない。

対応案：第 1 期基本計画の評価は施策評価を中心に行っているところであり、計画の進捗状況や評価は施策ごとに毎年作成している評価シートを見ていただくことが望ましいが、施策は多岐にわたり、全ての評価シートの情報量は相当多いものとなっている。基本計画の進捗概況を指標（ベンチマーク）でわかりやすく市民にお知らせし、興味を持っていただくことで、公表している施策評価への情報提供の入り口として位置付けるといった整理を改めて行うとともに、指標（ベンチマーク）の趣旨について、さらにわかりやすく周知する。

**市民意識調査**

課題：市民意識調査では、基本方針ごとの重要度、満足度を中心にアンケートを行っているが、より詳細な市民ニーズの把握のためには、さらに掘り下げた調査が望ましいと考えられる。しかし、詳細な調査のために依頼するアンケート項目数を増やすと、回答者の負担も増えてしまうため、アンケート回答率が下がってしまう懸念がある。

対応案：積極的に自由意見の記述を求めるなど、より具体的な市民の声をいただくことで、効果的な情報収集とデータ活用ができるように手法を検討する。

**施策**

課題：評価の中心として行っている施策評価は、施策に関係する所属の情報共有に基づき実施し、施策評価シートを作成しているが、作業は各所属の担当者が中心となっていることから、現状分析や課題抽出は実施しているものの、改善の方針を出すにあたっては、幅広い視野による所属長のマネジメントが発揮されにくい面があると考えられる。

対応案：施策ごとに関係所属長を評価担当者とするなどして、施策全般を見渡した中での改善の方針をより出しやすくできるように、評価体制を検討する。

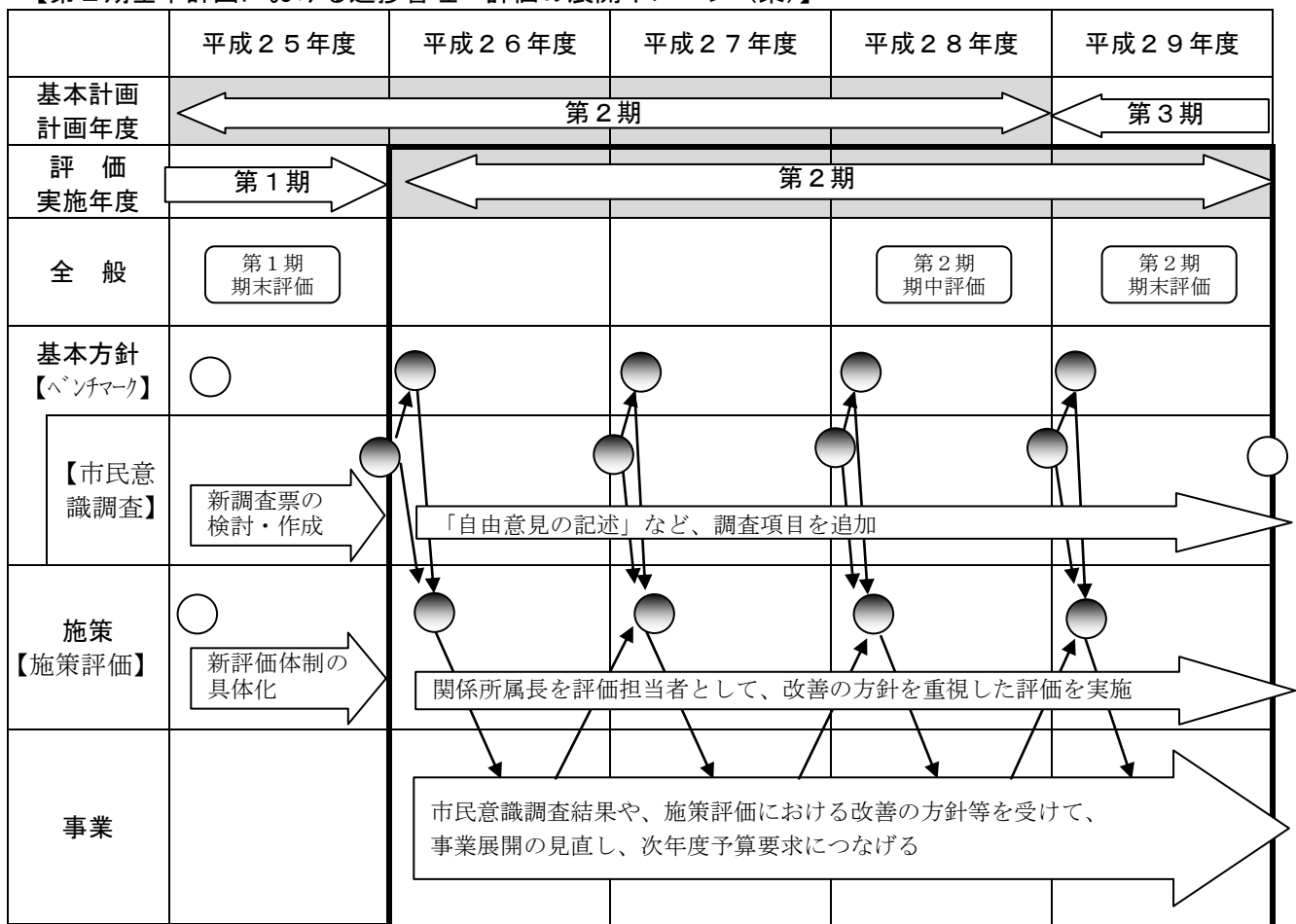
【第2期基本計画における進捗管理・評価の考え方（案）】

平成22年度からスタートした第5次総合計画第1期基本計画の進捗管理・評価は、平成23年度、平成24年度に実施してきたところであり、実施段階でいくつかの課題はあるものの、施策評価を中心とした取組みにおいて一定のサイクルが形成されてきたところである。

第2期基本計画での進捗管理・評価方法については、これまでの取組みの課題を整理し、実施段階において、さらに実効性のある手法を取り入れながら、これまでのサイクルを基本として継続した展開を進めることとする。

- ◆第2期基本計画の計画期間は平成25年度から平成28年度までを予定していることから、計画期間終了後の平成29年度に期末評価を行う。
- ◆第3期基本計画の策定に向けて、策定年度である平成28年度に第2期基本計画を中間的に総括するため、平成25年度から平成27年度までの実績に基づく期中評価を行う。

【第2期基本計画における進捗管理・評価の展開イメージ（案）】



( ● 第2期基本計画に関する進捗管理・評価 )